

| 市町村名                                     |  | 南大東村              |             |                    |   |                  |                  |
|--|--|-------------------|-------------|--------------------|---|------------------|------------------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】      |  |                   |             |                    |   |                  |                  |
| 事業番号・事業名                                 | 1-①  | 健康診査用機材搬送事業       |             | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(11)-イ                            |                  |                  |
| 担当部署名                                    | 福祉民生課  | 事業実施(予定)年度        | 平成24~令和3年度  | 沖縄振興基本方針該当箇所       | 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上<br>Ⅲ-9 |                  |                  |
| 事業内容                                     | 住民健診が安定的に実施できる環境を整えることにより定住促進を図る為、特定健診等の集団検診に使用する検診機材の海上移送船運賃及び荷役料、検査技師等の来島費を支援する。   |                   |             |                    |   |                  |                  |
| 効果発現年度                                   | ■当年度      □後年度(      年度)   |                   |             |                    |   |                  |                  |
| 実施方法                                     | □直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )   |                   |             |                    |   |                  |                  |
| 予算額・執行額<br>【単位:千円】<br>(「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況  | H26年度             | H27年度       | H28年度              | H29年度                                   | H30年度            |                  |
|  |  | (a) 当初予算額         | 1,787       | 1,939              | 1,996                                   | 1,996            | 1,996            |
|  | (b) 予算現額   | 423               | 431         | 407                | 499                                     | 474              |                  |
|  | (c) 増減額(b-a)   | ▲1,364            | ▲1,508      | ▲1,589             | ▲1,497                                  | ▲1,522           |                  |
|  | (d) 繰越額  | -                 | -           | -                  | -                                       | -                |                  |
|  | A. 計(b+d)  | 423               | 431         | 407                | 499                                     | 474              |                  |
|  | B. 執行済額  | 423               | 431         | 407                | 499                                     | 474              |                  |
|  | うち交付金充当額   | 338               | 345         | 325                | 325                                     | 379              |                  |
|  | 次年度繰越額   | 0                 | 0           | 0                  | 0                                       | 0                |                  |
|  | 執行率(%) (B/A)   | 100.0%            | 100.0%      | 100.0%             | 100.0%                                  | 100.0%           |                  |
| 予算の状況の説明                                 | 検診のための検査技師等スタッフ来島渡航費の委託料は、合計473,900円(結核・肺がん検診176,400円、大腸がん検診58,800円、乳がん・子宮がん・骨粗しょう症検診238,700円)であった。胸部X線車輦は、委託している健診機関との交渉成立に至らず、沖縄県立南部医療センター(親病院)の使用許可と附属南大東診療所の協力により、診療所での利用となったため、予算削減となった。  |                   |             |                    |   |                  |                  |
| 活動目標(指標)及び達成状況                           | H30活動目標(指標)  | 達成状況              |             |                    |   |                  |                  |
|  |  | H27年度             | H28年度       | H29年度              | H30年度                                   |                  |                  |
|  | 1. 集団健診機材の海上輸送運賃の支援  | 目標                | ( 補助の実施 )   | ( 補助の実施 )          | ( 委託の実施 )                               | ( 支援の実施 )        |                  |
|  |  | 実績                | 未実施         | 未実施                | 未実施                                     | 未実施              |                  |
| 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援                     | 目標   | ( 補助の実施 )         | ( 補助の実施 )   | ( 委託の実施 )          | ( 支援の実施 )                               |                  |                  |
|  | 実績   | 補助の実施             | 補助の実施       | 委託の実施              | 支援の実施                                   |                  |                  |
| 達成状況説明                                   | 平成25年度の住民健診予定日の10月には、台風が3回発生し、予定より1ヶ月後の健診となり、胸部レントゲン車を長期間島に置くことになったため、台風発生時期をずらすべく、4月~6月の間の日程調整を申し入れた。当該時期での実施について委託する健診医療機関と毎年交渉しているが、医療機関としては、学校健診等胸部レントゲン車に空きがないとの理由で30年度も実現に至っていない。平成28年度には県の保健医療部に対して南大東村におけるがん検診等の問題点、課題要望書を提出しているが、問題解決に至っていない。しかしながら、平成29年8月に別の医療機関と交渉し、29年度は無理だが、30年度においては車両の移送を検討したいとの返事がもたらえた。29年度については、検診車の輸送が実現するまでの期間という条件付きながら、沖縄県立南部医療センターから同病院附属の南大東診療所の使用許可と協力が得られたことから、胸部X線検診について診療所で実施することができた。しかし、結局は30年度も検診車輦の移送を要望したが、本村で実施する検診期間、船舶、先方との日程が合わず断念した。実施にあたっては、30年度も受診率アップのため住民検診と近い日程を設定し、実施した。その際、検査技師等スタッフの渡航を支援して来島していただいたことにより、各種がん検診を実施することができ、住民一人一人の健康状態を確認できた。これを受け手要再検・要精査の方には、通知により再受診を勧奨する事ができたことから、各種疾病の早発見、治療に繋がった。 |                   |             |                    |   |                  |                  |
| 成果目標(指標)及び進捗状況                           | H30成果目標(指標)  | 基準値(H23年度)        | H28年度       | H29年度              | H30年度                                   | 目標値(年度)          |                  |
|  |  | 目標                | ( 325 )     | ( 360(41.0%) )     | ( 360(41.0%) )                          | ( 360(32.0%以上) ) | ( )              |
|  | 集団検診受診率の増(32%増)  | 実績                |             | 315人(87.5%)        | 287人(79.7%)                             | 289人(80.3%)      |                  |
|  |  | 【参考指標】胸部レントゲン撮影者数 | 目標          | ( )                | ( 360(41.0%) )                          | ( 360(41.0%) )   | ( 360(32.0%以上) ) |
| 実績                                       |  | 236人(65.5%)       | 194人(53.9%) | 199人(55.3%)        |   |                  |                  |
| 進捗状況説明                                   | 各種がん検診実施のための、検査技師等スタッフの派遣により、継続して実施できた。また、胸部レントゲン車の海上移送はできなかったが、胸部X線の撮影を島内の診療所で実施できた。よって、30年度は受診者数について、僅かながら増となり、前年比の実績としても増となった。  |                   |             |                    |   |                  |                  |

|       | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)   | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)   |
|-------|---|--|
| 取組の検証 | <p>・例年同様、住民検診及び胸部レントゲン検診(がん検診)は受診率向上を図るため、今後も継続的にやりたい。</p> <p>・健診実施を委託する医療機関に対し、車両の移送による集団検診とがん検診の同時実施に向けた交渉をしているが、レントゲンを搭載した車両の不足を理由として、車両の派遣を再度行ってもらうことができていない。</p> <p>代替として、県立病院附属南大東診療所のレントゲン機器を借用し実施しているが、土・日・祝祭日の診療所が休日であれば利用できないため、がん検診における受診率は然程伸びていない。</p> | <p>・離島においても医療提供体制の確保に努めていくためには、村民の検診受診率の向上を図り、早期のがん発見等につなげるべく、継続的に村で検診の受診率向上に取り組んでいく必要がある。住民健診とがん検診の同時受診ができるよう日程を調整することで受診率アップが目指せるものと考えられる。</p> <p>・胸部レントゲン検診の受診率向上には、集団検診と胸部レントゲン検診を同時に行う必要があると考えられる。診療所の機器等の使用条件では、どうしても集団検診と胸部レントゲン検診を別日程で行うことになってしまうことから、同日の実施を目指し、胸部レントゲン車移送実現のため、今後も検診医療機関に要望していく必要がある。</p> <p>なお、沖縄県や他市町村における検診の実施状況等について情報の収集を行った上で、既存の実施医療機関とは別の医療機関へ依頼できないか検討すべく、他の医療機関と交渉したところ、平成29年度は実現できなかったものの、今後検討するとの返事をいただいた。</p> <p>しかし、30年度もレントゲン車の移送は日程等の調整が合わず実現できなかったため、住民の検診率向上及び早期発見、更なる健康維持を目指す上に村と医療機関で協議していく必要がある。</p> |

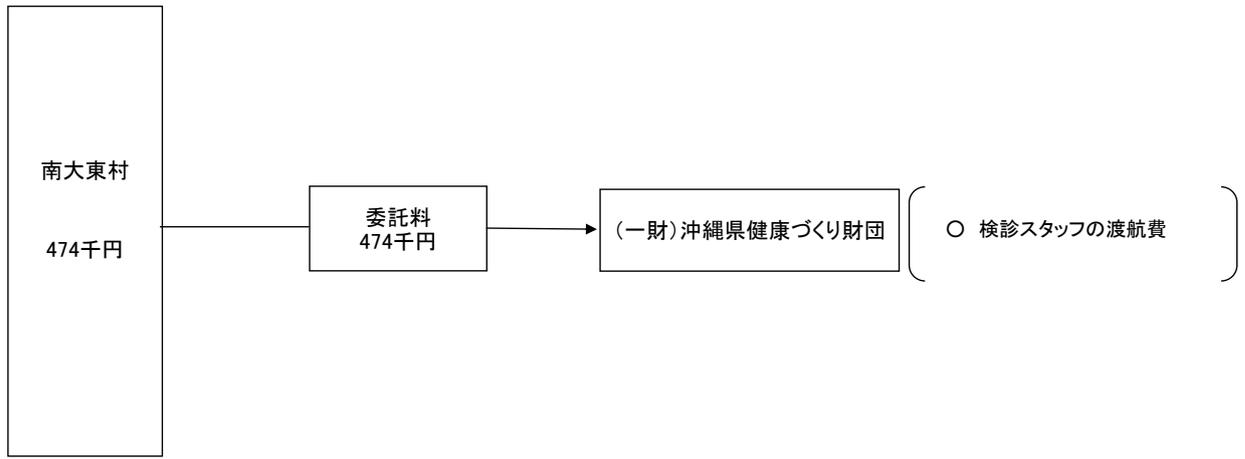
**今後の取り組み方針**

住民検診の受診率向上とがんの早期発見、更なる健康維持を目指すため、レントゲン車輛と人員の派遣による集団検診及び胸部レントゲン検診(がん検診)の同日実施に向けて村と医療機関との協議を強化していきたい。

又、同日実施ができなくても、集団検診と合わせて胸部レントゲン検診も受診するよう住民への推進を強化していき、各種疾病の早期発見及び早期治療につなげていこう引き続き努めていきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

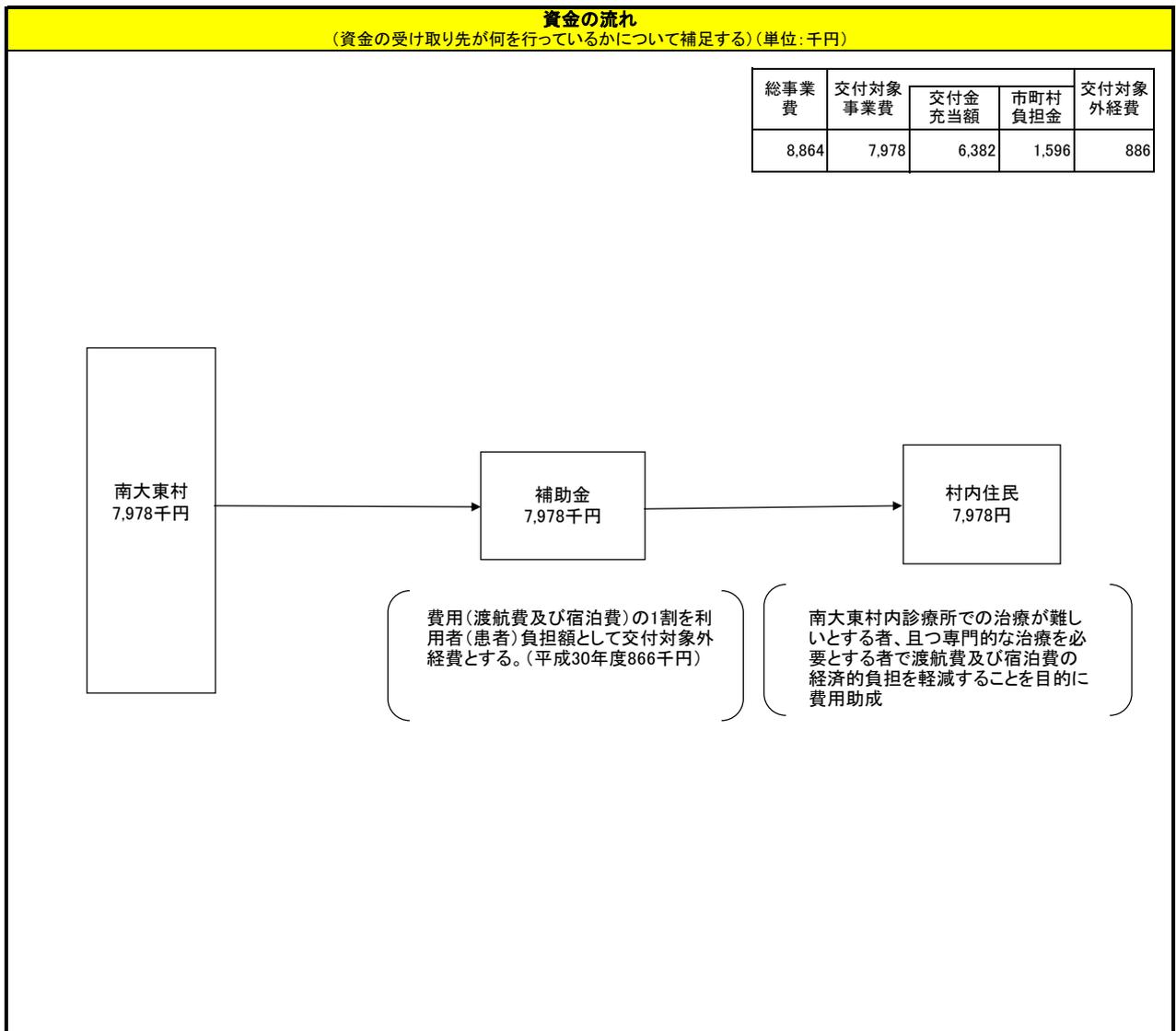
| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付先    |        | 交付対象外経費 |
|------|---------|--------|--------|---------|
|      |         | 交付金充当額 | 市町村負担金 |         |
| 474  | 474     | 379    | 95     | 0       |



| 資金の流<br>れ、<br>点<br>検<br>費<br>目<br>・<br>評<br>価 | 評価 | 点 検 項 目                        | 評価に関する説明                                       |
|---|----|--------------------------------|--|
|   | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○委託先は沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている一般財団法人であるため妥当である。  |
|   | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    | ○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。 |
|   | -  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |  |
|   | ○  | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費用・使途が事業目的に即し、検査時に書類等で確認しており、真に必要なものに限定されている。 |

| 市町村名   |  | 南大東村                       |              |                    |  |           |         |
|--|--|----------------------------|--------------|--------------------|--|-----------|---------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】  |  |                            |              |                    |  |           |         |
| 事業番号・事業名   | 1-②  | 専門病院受診渡航費助成事業              |              | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(11)-イ<br>生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 |           |         |
| 担当部課名  | 福祉民生課  | 事業実施(予定)年度                 | 平成25~令和3年度   | 沖縄振興基本方針該当箇所       | Ⅲ-9  |           |         |
| 事業内容   | 本村の医療機関は診療所のみとなっているため、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民の渡航費を支援し住民負担を軽減することにより居住環境の改善につなげることで、離島の定住促進を図る。  |                            |              |                    |  |           |         |
| 効果発現年度   | ■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( )年度 <input type="checkbox"/>  |                            |              |                    |  |           |         |
| 実施方法   | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )   |                            |              |                    |  |           |         |
| 予算額・執行額【単位:千円】<br>(「交付金」+「市町村負担」ベース)   | 予算の状況  | H26年度                      | H27年度        | H28年度              | H29年度  | H30年度     |         |
|  |  | (a)当初予算額                   | 4,491        | 5,912              | 5,912  | 5,912     | 6,568   |
|  | (b)予算現額  | 5,809                      | 7,068        | 7,791              | 8,054  | 7,978     |         |
|  | (c)増減額(b-a)  | 1,318                      | 1,156        | 1,879              | 2,142  | 1,410     |         |
|  | (d)繰越額   | -                          | -            | -                  | -  | -         |         |
|  | A.計(b+d)   | 5,809                      | 7,068        | 7,791              | 7,675  | 7,978     |         |
|  | B.執行済額   | 5,809                      | 7,068        | 7,790              | 7,675  | 7,978     |         |
|  | うち交付金充当額   | 4,647                      | 5,654        | 6,232              | 6,140  | 6,382     |         |
|  | 次年度繰越額   | 0                          | 0            | 0                  | 0  | 0         |         |
|  | 執行率(%) (B/A)   | 100.0%                     | 100.0%       | 100.0%             | 100.0%   | 100.0%    |         |
| 予算の状況の説明   | 当初予算では200人を想定し、予算計上したが、実績では410人と大きく上回ったため、予算1,410千円を増額した。<br>【助成金利用者内訳】<br>患者352人/6,940,286円、付添人/58人1,037,628円、合計410人/7,977,914円(7,978千円)<br>(内 急患患者 6人/74,520円、小児のみ 31人/551,365円)   |                            |              |                    |  |           |         |
| 活動目標(指標)及び達成状況   | H30活動目標(指標)  |                            | 達成状況         |                    |  |           |         |
|  |  |                            | H27年度        | H28年度              | H29年度  | H30年度     |         |
|  | 専門病院受診渡航費助成の実施   |                            | 目標 ( 助成の実施 ) | ( 助成の実施 )          | ( 助成の実施 )  | ( 助成の実施 ) |         |
| 達成状況説明   |  | 実績 助成の実施 助成の実施 助成の実施 助成の実施 |              |                    |  |           |         |
| 平成25年6月1日から渡航費助成事業を開始した。当初より村広報誌、住民説明会等で村民に周知した。<br>平成26年度から、村内診療所にて紹介状発行患者に対して、助成制度窓口宛て「紹介状発行証明書」を渡し、制度の周知をした。<br>平成27年度から渡航前に窓口へ「紹介状発行証明書」の提出を誘導し、必要書類の案内、及び手続方法をチラシ及び口頭案内を行った。紹介状発行証明書の提出を条件とすることで、まずは南大東診療所で受診をし、医師が島内での治療が困難と認めた方について、紹介先の医療機関と紹介先診療科を記載された証明書を診療所が発行するという流れを構築するためのものである。当該書類を患者が保健センターに提出するタイミングで、診断及び受診状況の証明書に係る様式(島外の診療機関を受診した際に専門治療先の医療機関に記載してもらう)を交付し、受診後にこれを提出してもらうことで、自己判断で島外医療施設を受診した場合など、事業の対象としない事例を対象外とするなどの判断ができる。<br>平成28年度は、申請の提出期間の周知を早めたことで、早期の手続き開始など、事務処理の効率向上につながり、円滑な助成ができた。<br>平成29年度においても引き続きこうした取り組みを行うとともに、診療所と連携し、必要書類及び手続方法の案内について、チラシ及び口頭案内を行う等によって、円滑な助成の実施につなげることができ、助成対象者の増加にも繋がった。<br>平成30年度も過去の取組を継続したことにより、診療所と連携し必要書類等の手続き、チラシ等による案内を行い例年どおり安定且つ、円滑な助成を実施することができた。 |  |                            |              |                    |  |           |         |
| 成果目標(指標)及び進捗状況   | H30成果目標(指標)  |                            | 基準値(年度)      | H28年度              | H29年度  | H30年度     | 目標値(年度) |
|  | 渡航費支援実施による離島苦の改善(渡航費支援を要望する人への支援率100%)<br>当初支援人数見込:200件  |                            | 目標 ( )       | ( 100% )           | ( 100% )   | ( 100% )  | ( )     |
|  |  |                            | 実績           | 100%               | 100%   | 100%      |         |
|  | 【参考指標】<br>支援実施件数410件   |                            | 目標 ( )       | ( - )              | ( - )  | ( - )     | ( )     |
|  |  |                            | 実績           | 410件               | 414件   | 410件      |         |
|  | 【参考指標】<br>南大東診療所から島外医療機関への紹介状発行件数 304件   |                            | 目標 ( )       | ( - )              | ( - )  | ( - )     | ( )     |
|  |  | 実績                         | 290件         | 300件               | 304件   |           |         |
| 進捗状況説明   | 成果目標の件数は、受診見込みの件数と付添人は、中学生以下、認知症、障害がある者等、ひとりでの移動が困難な場合等を動かし、おおよその見込みで計上した。例年同様当初の見込みを大幅に上回ったが年度途中で予算の増額措置を行うことができ、支援を希望する方全員へ支援を行うことができた。<br>制度対象者へは、診療所または申請窓口において、直接案内できたことからH27は実績375人、H28は410人、H29は414人、H30は410人でH28年度以降はほぼ横ばいの実績である。又、15歳未満の受診者がH27年度は20件、H28年度は46件、H29年度は59件と増加し、H30年度は31件と減少したが年々制度の周知・口コミによる周知等で対象者が利用することで自己負担の軽減に繋がった。<br>診療所が「紹介状発行証明書」の発行を行い、保健センターへの提出という流れへと誘導することで例年同様、必要書類の案内及び手続方法をチラシ及び口頭案内することができた。 |                            |              |                    |  |           |         |

| 推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)   |   | 改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)  |
|--|---|--|
| 取組の検証  | 申請時等における添付書類として、<br>①村内診療所が紹介状発行した事実(紹介状発行証明書)または、急患空輸患者(急患空輸要請書)、<br>②沖縄本島専門医療機関主治医による診断書、<br>③専門医療機関の領収書、<br>④渡航費領収書、<br>⑤搭乗券または乗船券(証明書含む)、<br>⑥例年、宿泊施設の領収書(1泊6千円以内、受診日及び前日の最大2日間)<br>を必要とし、申請者の書類準備に時間を要する。特に高齢者は、添付書類不備が多く、家族や支援者の援助が必要である。 | 当該制度は南大東村内での治療が難しいとされる患者へ対する救済制度の為、左記①『村内診療所が紹介状を発行した事実』を確認するなど、「紹介状発行証明書」を採用し、患者自身の自己判断による受診のための渡航費用の助成とならないよう制度の適正運用に努め、患者自身にも理解と認識を得てもらふ必要がある。<br>また、左記②『沖縄本島専門医療機関主治医による診断書』を必要とする際、従来は患者自身の口頭説明による診断書発行依頼であったため、記載内容不備となるケースが発生していたことから、(1)診断書記入例(2)制度案内チラシ(3)(1)の記入例と同様の様式の診断書を予め受診者等へ配布することで、患者及び主治医の診断書作成にかかる労力削減を図っているところである。その上で、対象者が書類もれがなく円滑に申請できるよう、窓口での丁寧な説明に努めるとともに、高齢者の方等については、家族等へ説明・手続きにあたって同行いただくよう協力を求めていく必要がある。 |
|  | <b>今後の取り組み方針</b>  |  |
| <p>今後も村内診療所において、専門治療及び加療が必要な患者の渡航費助成を行うことで、経済的な負担軽減により、診療治療が中断することなく、専門医療機関での継続治療を促し、健康増進に繋げる。</p> <p>(1)患者自身の判断で、専門治療渡航費の助成とならないように、適正運用に向け、書類の提出要件については今後とも同等としていく。</p> <p>(2)渡航費の不足など、経済的理由により受診が遅れないよう(こしつ、安易な理由(検査)で受診することにならないよう、また、書類不備が生じないよう、対象者へ窓口での説明や保健センターだより等広報媒体における制度説明を引き続き実施していく。</p> <p>(3)書類不備を防ぐため、家族等に合せて説明を行えるよう役場への同行等について協力を求めていく。</p> <p>(4)その他申請漏れ、添付書類等の不備による事務手続きを速やかに行うため、上記の「推進上の留意点」及び「改善余地の検証」を改めて認識した上で更なる円滑な事務処理に努めていく。</p> |   |  |



| 資金の用途の点検・評価 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明   |
|-------------|----|--------------------------------|--|
|             | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○事業目的に沿った申請受付・審査・決定・決定通知・振込は、適正に処理されている。<br>○不用額は事業費の1%以内であり適正な規模であった。<br>○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。<br>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。 |
|             | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |  |
|             | ○  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |  |
|             | ○  | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |  |
| ○           |    |                                |  |

|   |   |   |   |                           |                             |                           |         |
|---|---|---|---|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------|
| 市町村名  | 南大東村  |   |   |                           |                             |                           |         |
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】             |   |   |   |                           |                             |                           |         |
| 事業番号・事業名  | 1-③   | 離島食品・日用品輸送費等支援実証事業  |   |                           | 沖縄21世紀ビジョン<br>基本計画該当箇所      | 第3章-3-(11)-ア              |         |
| 担当部署名   | 産業課   | 事業実施<br>(予定)年度  | 平成28~令和3年度  |                           | 沖縄振興基本方針<br>該当箇所            | 交通・生活コストの低減               |         |
| 事業内容  | 離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費の支援を実施している。また、平成29年度から実施している飛行機輸送補助については、新しい品目で野菜を追加したのもあって、前年度89,510円に対し、今年度は621,570円もの補助を村と県1/2で行った。 |   |   |                           |                             |                           |         |
| 効果発現年度  | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)  |   |   |                           |                             |                           |         |
| 実施方法  | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )                       |   |   |                           |                             |                           |         |
| <b>予算額・執行額</b><br>【単位:千円】<br>(「交付金」+「市町村負担」ベース) |   | H28年度   | H29年度   | H30年度                     | R1年度                        | R2年度                      |         |
|   | 予算の状況   | (a) 当初予算額   | 14,641  | 14,753                    | 12,422                      |                           |         |
|   |   | (b) 予算現額  | 12,995  | 13,121                    | 13,455                      |                           |         |
|   |   | (c) 増減額(b-a)  | ▲ 1,646   | ▲ 1,632                   | 1,033                       | 0                         | 0       |
|   |   | (d) 繰越額   | -   | -                         | -                           | -                         | -       |
|   |   | A. 計(b+d)   | 12,995  | 13,121                    | 13,455                      | 0                         | 0       |
|   |   | B. 執行済額   | 12,995  | 13,121                    | 13,455                      |                           |         |
|   |   | うち交付金充当額  | 10,395  | 10,497                    | 10,763                      |                           |         |
|   |   | 次年度繰越額  | 0   | 0                         | 0                           | 0                         | 0       |
|   |   | 執行率(%) (B/A)  | 100.0%  | 100.0%                    | 100.0%                      | #DIV/0!                   | #DIV/0! |
|   | 予算の状況の説明  | 当初は12,422千円を計上していたが、台風の影響で一部の港が破壊され使用できない状態が続き航海数が減ったが、航空便での輸送の利用が増えたため、1,033千円事業費が増となった。 |   |                           |                             |                           |         |
| <b>活動目標(指標)及び達成状況</b>                           | H30活動目標(指標)   |   | 達成状況  |                           |                             |                           |         |
|   |   |   | H28年度   | H29年度                     | H30年度                       | R1年度                      |         |
|   | 食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援   | 目標  | ( 支援 )  | ( 支援 )                    | ( 支援 )                      | (    )                    |         |
|   |   | 実績  | 支援実施  | 支援実施                      | 支援実施                        |                           |         |
|   | 達成状況説明  | 今年度は海の状況と3箇所ある南大東の港の1箇所が台風の影響で破損使用できない状態がしばらく続いたため、航海数が減ってしまったため、航空輸送の利用が増えた。             |   |                           |                             |                           |         |
| <b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>                           | H30成果目標(指標)   |   | 基準値(H23年度)  | H28年度                     | H29年度                       | H30年度                     | 目標値(年度) |
|   | ・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小  | 目標  | ( 142.5 )   | ( 価格差の縮小 )                | ( 価格差の縮小 )                  | ( 価格差の縮小 )                | (    )  |
|   | ※価格差は県で行っている物価調査を使用している。  | 実績  |   | 指数:120<br>22.5ポイントの価格差の縮小 | 指数:121.1<br>21.4ポイントの価格差の縮小 | 指数:119<br>23.5ポイントの価格差の縮小 |         |
|   |   | 進捗状況説明  | 補助対象となっている店舗による商品の値引き等が今年度もみられた。商店によっては各商品を値下げするとあまりお客様の実感がわきづらいということで年数回セールを行っていた。セールの際も事業で軽減されたセールということも分かるように提示していた。 |                           |                             |                           |         |

| 取組の検証  | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)  | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)   |
|--|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートでは村民の補助事業の効果についての実感度が平成29年度に比べ15.5%程高くなっていったが以前として約半分は実感が無いと答えた。</li> <li>飛行機輸送の際、貨物送り状の経費内訳、品名の記載漏れがあった場合においては、補助対象店舗、関係業者に記載済みの送り状の提出を求める必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各商店へ商品の値引きシールの貼り付けを徹底させることや広報が引き続き必要である。</li> </ul> |
| <b>今後の取り組み方針</b>   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>各店舗に値引きシールを貼るよう依頼していく。</li> <li>補助対象店舗に対し、飛行機輸送の際において提出する資料の記載事項を再確認してもらうよう依頼していく。</li> <li>上記の取り組みを行うことで、航路事業者、各商店に円滑に補助金の支払、補助額の通知が毎月出来るように努めていくとともに、各商店との間で飛行機輸送に対する補助の実施にあたっての流れを確認し、円滑な補助実施に努めるほか、島民に対して補助事業の成果をわかりやすく周知できるようにしていく。</li> </ul> |  |  |

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費   | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
|--------|---------|--------|--------|---------|
| 13,454 | 13,454  | 10,763 | 2,691  | 0       |

```

graph TD
    A[南大東村  
13,454千円] --> B[補助金  
13,454千円]
    B --> C[卸売業者等]
    B --> D[航路事業者等]
    B --> E[登録事業者  
(離島小売店)]
    C --> F[住民等]
    D --> F
    E --> F
    
```

※飛行機輸送の場合は登録事業者へ直接支払われる。

| 資金の用途の流れ、点検、費目 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明   |
|----------------|----|--------------------------------|--|
|                | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○輸送経費・作業経費補助内容にそった航路事業者で支出先は妥当である。</li> <li>○不用額については、天候や事務処理上の必要性から生じたものであり、事業内容に見合った適正な規模である。</li> <li>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul> |
|                | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |  |
|                | -  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |  |
|                | ○  | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |  |

|   |  |   |              |                |                    |              |              |
|---|--|---|--------------|----------------|--------------------|--------------|--------------|
| 市町村名  | 南大東村   |   |              |                |                    |              |              |
| <b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>      |  |   |              |                |                    |              |              |
| 事業番号・事業名  | 2-①  | 花いっぱいクリーン環境整備事業   |              |                | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-ア |              |
| 担当部署名   | 産業課  | 事業実施(予定)年度  | 平成25~令和3年度   |                | 沖縄振興基本方針該当箇所       | 観光リゾート産業の振興  |              |
| 事業内容  | 観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地のアクセス道路等の美化清掃を行う。  |   |              |                |                    |              |              |
| 効果発現年度  | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)   |   |              |                |                    |              |              |
| 実施方法  | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )  |   |              |                |                    |              |              |
| <b>予算額・執行額</b><br>【単位:千円】<br>(「交付金」+「市町村負担」ベース) | <b>予算の状況</b>   |   | H27年度        | H28年度          | H29年度              | H30年度        | R1年度         |
|   |  | (a) 当初予算額   | 7,637        | 9,381          | 10,753             | 13,205       |              |
|   |  | (b) 予算現額  | 5,923        | 8,167          | 12,769             | 13,054       |              |
|   |  | (c) 増減額(b-a)  | ▲1,714       | ▲1,214         | 2,016              | ▲151         |              |
|   |  | (d) 繰越額   | -            | -              |                    |              |              |
|   |  | A. 計(b+d)   | 5,923        | 8,167          | 12,769             | 13,054       |              |
|   |  | B. 執行済額   | 5,923        | 8,166          | 12,252             | 13,054       |              |
|   |  | うち交付金充当額  | 4,737        | 6,532          | 9,801              | 10,443       |              |
|   |  | 次年度繰越額  | 0            | 0              | 0                  | 0            |              |
|   |  | 執行率(%) (B/A)  | 100.0%       | 100.0%         | 96.0%              | 100.0%       |              |
| 予算の状況の説明  | ・当初は13,205千円で予算を計上したが、天候不良等で美化清掃作業ができない場合があり151千円の減となった。<br>・草刈り機を購入したことで、面積の広い箇所の除草作業で大幅な時間の短縮に繋がり、高齢者の作業員の負担軽減が図れた。  |   |              |                |                    |              |              |
| <b>活動目標(指標)及び達成状況</b>                           | H30活動目標(指標)  |   | 達成状況         |                |                    |              |              |
|   |  |   | H27年度        | H28年度          | H29年度              | H30年度        |              |
|   | 観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 2箇所)  | 目標  | ( 5箇所 )      | ( 10箇所 )       | ( 12箇所 )           | ( 12箇所 )     |              |
|   |  | 実績  | 9カ所          | 9カ所            | 12カ所               | 12箇所         |              |
| 達成状況説明  | ・観光地10箇所、アクセス道路2箇所の12箇所において美化清掃を実施した。<br>・平成30年度は花いっぱいクリーン環境整備工事にて観光地であるバリバリ岩のアクセス道路に南大東村花であるハイビスカスの植栽工事を実施した。(800m <sup>2</sup> )<br>・備品で自走式草刈機(ハンマーナイフモア)を購入し広い面積の箇所でも作業が早くなり、更に高齢者の作業負担軽減にも繋がった。<br>・美化清掃活動に使用する備品を購入したことにより景観向上維持がしやすくなった。 |   |              |                |                    |              |              |
| <b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>                           | H30成果目標(指標)  |   | 基準値(H29年度)   | H29年度          | H30年度              | R1年度         | 目標値(年度)      |
|   | 観光客を対象に観光地やアクセス道路について、アンケートによる美化満足度調査(満足度70%以上)  | 目標  | ( 満足度70%以上 ) | ( 満足度70%以上 )   | ( 満足度70%以上 )       | (    )       | ( 満足度70%以上 ) |
|   |  | 実績  |              | 満足51%<br>普通41% | 満足52%<br>普通43%     |              |              |
|   | 進捗状況説明   | ・美化緑化されたアクセス道路が増えることにより、観光地の良い目印になり、更にたどり着くまで景観を楽しむ事も出来るため景観の向上に繋がったものとする。アンケートにおいて不満足と回答の方が1割に満たなかったことから、期待される程度以上の景観を維持することはできているが、満足と答えた方は52%と概ね半分にどまっていることから、さらなる景観向上に努めていく必要がある。 |              |                |                    |              |              |

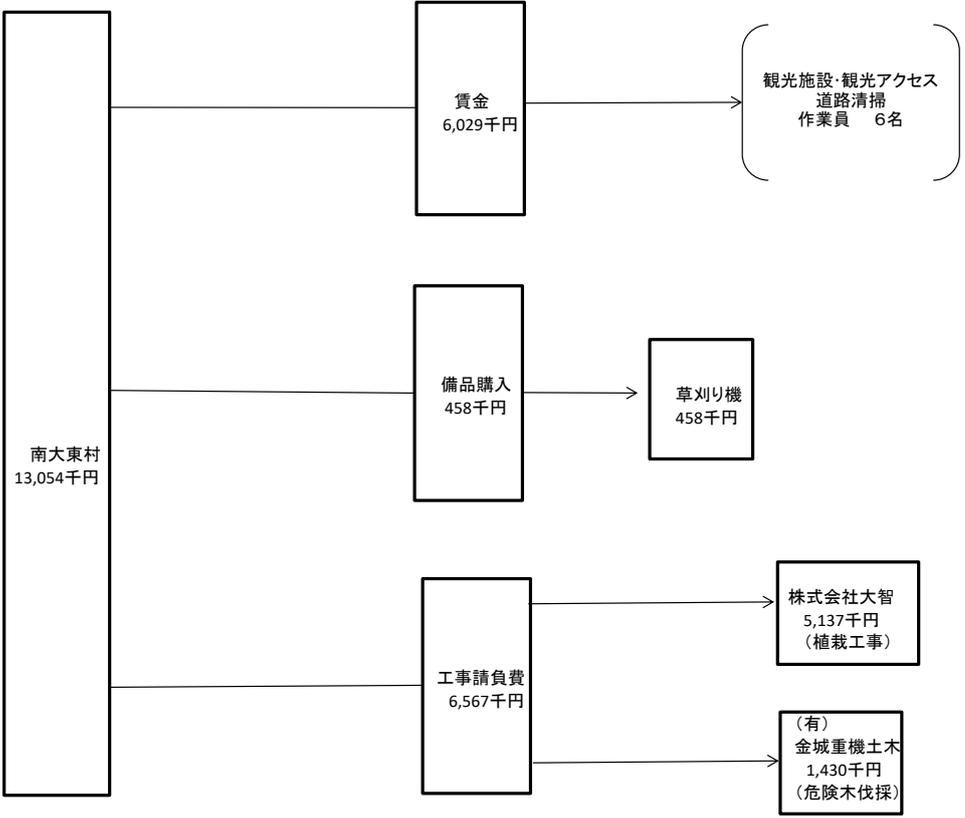
| 取組の検証 | 推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)  | 改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)  |
|-------|---|--|
|       | <p>・事業で植栽した花木(ハイビスカス)の成長が年ごとに良くなっていくが、その際に枝が太くなる傾向が強くなっている。剪定は手作業のため、時間がかかり、他の場所の作業に遅れが生じ、景観維持に遅れが出ている。</p> | <p>・今年度で購入した備品(自走式草刈機)により、広い面積を効率よく作業が出来るようになったため、選定作業を行いながら、他の施設の状況により対応していく。</p> |

**今後の取り組み方針**

・植栽箇所も増え作業が多くなり、備品購入による作業の効率化等を図っているが、高齢者が作業しているため、事故が起きないための対策を行い、重労働である選定作業の軽減対策も考察していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費   | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
|--------|---------|--------|--------|---------|
| 13,054 | 13,054  | 10,443 | 2,611  | 0       |



| 資金の用途の流れ、点検、評価 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明  |
|----------------|----|--------------------------------|---|
|                | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○工事請負業者は、指名競争入札で選定しており妥当であったと考えている。<br>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 |
|                | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |   |
|                | —  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              | ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。                   |
|                | ○  | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |   |

|   |   |   |                     |                     |                     |               |         |
|---|---|---|---------------------|---------------------|---------------------|---------------|---------|
| 市町村名  | 南大東村  |   |                     |                     |                     |               |         |
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】             |   |   |                     |                     |                     |               |         |
| 事業番号・事業名  | 2-②   | 大型クルーズ船観光魅力発信支援事業   |                     |                     | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所  | 第3章-3-(12)-ア  |         |
| 担当部署名   | 産業課   | 事業実施(予定)年度  | 平成28~令和3年度          |                     | 沖縄振興基本方針該当箇所        | 観光リゾート産業の振興   |         |
| 事業内容  | 島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信の為、大型クルーズ船の寄港を誘致する。   |   |                     |                     |                     |               |         |
| 効果発現年度  | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)  |   |                     |                     |                     |               |         |
| 実施方法  | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )   |   |                     |                     |                     |               |         |
| <b>予算額・執行額</b><br>【単位:千円】<br>(「交付金」+「市町村負担」ベース) |   | H28年度   | H29年度               | H30年度               | R1年度                | R2年度          |         |
|   | 予算の状況   | (a) 当初予算額   | 1,900               | 1,893               | 1,893               |               |         |
|   |   | (b) 予算現額  | 1,799               | 1,893               | 1,845               |               |         |
|   |   | (c) 増減額(b-a)  | ▲101                | 0                   | ▲48                 | 0             | 0       |
|   |   | (d) 繰越額   | -                   | -                   | -                   |               | -       |
|   |   | A. 計(b+d)   | 1,799               | 1,893               | 1,845               | 0             | 0       |
|   |   | B. 執行済額   | 1,798               | 1,635               | 1,845               |               |         |
|   |   | うち交付金充当額  | 1,438               | 1,307               | 1,475               |               |         |
|   |   | 次年度繰越額  | 0                   | 0                   | 0                   | 0             | 0       |
|   |   | 執行率(%) (B/A)  | 99.9%               | 86.4%               | 100.0%              | #DIV/0!       | #DIV/0! |
|   | 予算の状況の説明  | 当初1,893千円で、クルーズ船誘致を計画していたが、使用料及び人件費が予定より減ったため1,845千円となった。   |                     |                     |                     |               |         |
| <b>活動目標(指標)及び達成状況</b>                           | H30活動目標(指標)   |   | 達成状況                |                     |                     |               |         |
|   |   |   | H28年度               | H29年度               | H30年度               | R1年度          |         |
|   | 島内観光(船11隻、レンタカー15台)の実施  | 目標  | 島内観光(船11隻、レンタカー25台) | 島内観光(船11隻、レンタカー15台) | 島内観光(船11隻、レンタカー15台) | (    )        |         |
|   |   | 実績  | 島内観光(船11隻、レンタカー25台) | 島内観光(船11隻、レンタカー15台) | 島内観光(船11隻、レンタカー15台) |               |         |
|   | 郷土芸能体験(司会1名、芸能4組)の実施  | 目標  | (    実施    )        | (    実施    )        | (    実施    )        | (    )        |         |
|   |   | 実績  | 実施                  | 実施                  | 実施                  |               |         |
| 達成状況説明  | 島内観光の実施を行うにあたっては、乗客の皆様をレンタカーにより案内するとともに、船11隻による海上の巡視で、輸送時の安全面の強化に努めるとともに、クルーズ船のボートが使用できない場合等における緊急時移動手段の確保を行った。メイン会場の漁業組合前広場において、JA女性部・農漁村生活研究会による「大東すし」「大東そば」300食の提供と、漁業組合によるマグロの解体ショー(4回)が開催され、また物販販売も行われた。郷土芸能は、島内芸能者による演芸の披露(沖縄民謡・大東太鼓)を船内にて行い、乗船客等に対し、島外へ島の魅力を発信することが出来た。島内観光スポットの「星野洞」「日の丸展望台」などへ案内し、地域挙げての対応となり、次年度以降のクルーズ船の来航につなげていく取り組みができた。 |   |                     |                     |                     |               |         |
| <b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>                           | H30成果目標(指標)   |   | 基準値(年度)             | H28年度               | H29年度               | H30年度         | 目標値(年度) |
|   | 来島者数:350名(乗客300名、クルー50名)  | 目標  | (    -    )         | (    350    )       | (    350    )       | (    350    ) | (    )  |
|   |   | 実績  |                     | 360(340/20)         | 358(340/18)         | 370(360/10)   |         |
|   | 進捗状況説明  | 乗客は当初見込みを超えて上陸してもらえ、島内の観光地を案内することができた。観光していただく中で、各商店においても特産品や工芸品を販売することで、島内の特産品や工芸品等についてのPRができた。来島者数の目標を達成することができた。 |                     |                     |                     |               |         |

|   | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)   | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)   |
|---|---|--|
| 取組の検証   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・港から歓迎会場、観光名所への移動については、車両20台で島民送迎スタッフ、146名もの、にっぽん丸乗客を案内した。</li> <li>・乗客のアンケート結果では、島民の対応については上陸した乗客全員が良かったと答えてくれたが、また、来島したいかというアンケートでは19%が来たくない、分からないなどがあり、「特産物が少ない、見学するところが少ない、ドライバーがなにも喋らない、観光大使のおすすめの土産がなかったなどの意見もでた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでもあった、特産物や欲しいと思っていた物がなかったりしたため、次回では試算よりも多めに準備し対応していくべきと感じた。更に特産物は少ないため、新しいものの開発をしアピールしていきたい。</li> <li>・ドライバーに関しては島民で行っているため、人それぞれの性格があるため、話すのが苦手な人用に、マニュアルを作成し対応。</li> <li>・アンケートでもあった、雨天の為散策できなかったという意見もあったため、その場合でも楽しみながら島の魅力を伝えるものの考察も必要と感じた。</li> </ul> |
| <b>今後の取り組み方針</b>  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型クルーズ船来島による南大東島の経済効果が、特産物販1,035,240円、観光施設213,200円、島内店舗他381,970円と合計で1,630,410円となったが、更なる経済効果を生むため、特産物開発の推進及び、他の観光施設もいけるように取り組む。</li> <li>・前年度に続き、観光客からの満足度は高かったが、少なからずマイナスの部分もあるため、考慮し対応していく。</li> <li>・時期については、変更ができないかを再検討を依頼するなど、農業の繁忙期との時期の重複を解消できないかについて試みていく。</li> <li>・今年度も単独行動による連絡不足などの対策は再検討すべきである。</li> </ul> |   |  |

| <b>資金の流れ</b><br>(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)   |         |                                |  |         |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
|--|---------|--------------------------------|--|---------|---------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|-----|---|
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,845</td> <td>1,845</td> <td>1,475</td> <td>370</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>   |         |                                |  | 総事業費    | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 | 1,845 | 1,845 | 1,475 | 370 | 0 |
| 総事業費   | 交付対象事業費 | 交付金充当額                         | 市町村負担金   | 交付対象外経費 |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
| 1,845  | 1,845   | 1,475                          | 370  | 0       |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
| <pre> graph TD     A[南大東村 1,845千円] --&gt; B[補助金 1,845千円]     B --&gt; C[南大東村商工会<br/>・クルーズ船受入・企画]     C &lt;--&gt; D[クルーズ船会社]     C &lt;--&gt; E[連携]     C &lt;--&gt; F[意見交]     F &lt;--&gt; G[村役場・小中学校・青年会<br/>・漁業組合・商店・生活研究会]     </pre> |         |                                |  |         |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
| 資金の流れの点検・費目・評価   | 評価      | 点検項目                           | 評価に関する説明   |         |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
|  | ○       | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○補助事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。         |         |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
|  | ○       | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    | ○不用額はなく適正であった。   |         |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
|  | ○       | 受益者との負担関係は妥当であるか。              | ○受益者である南大東村商工会も事業費を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 |         |         |        |        |         |       |       |       |     |   |
|  | ○       | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。       |         |         |        |        |         |       |       |       |     |   |

|   |   |   |                     |                    |                    |                    |          |
|---|---|---|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------|
| 市町村名  | 南大東村  |   |                     |                    |                    |                    |          |
| <b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>      |   |   |                     |                    |                    |                    |          |
| 事業番号・事業名  | 3-①   | 人材育成派遣事業  |                     |                    | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-5-(2)-ア        |          |
| 担当部署名   | 教育委員会   | 事業実施(予定)年度  | 平成25~令和3年度          | 沖縄振興基本方針該当箇所       | 教育機会の拡充            |                    |          |
| 事業内容  | 「離島・へき地に教育のへき地はない」をモットーに、児童生徒には、目標を掲げさせ、目標に近づけるように日々練習に励むよう、子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。  |   |                     |                    |                    |                    |          |
| 効果発現年度  | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)  |   |                     |                    |                    |                    |          |
| 実施方法  | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      ) |   |                     |                    |                    |                    |          |
| <b>予算額・執行額</b><br>【単位:千円】<br>(「交付金」+「市町村負担」ベース) |   | H26年度   | H27年度               | H28年度              | H29年度              | H30年度              |          |
|   | <b>予算の状況</b>  | (a) 当初予算額   | 2,902               | 3,237              | 3,870              | 4,275              | 5,571    |
|   |   | (b) 予算現額  | 1,979               | 3,142              | 2,880              | 2,550              | 2,855    |
|   |   | (c) 増減額(b-a)  | ▲ 923               | ▲ 95               | ▲ 990              | ▲ 1,725            | ▲ 2,716  |
|   |   | (d) 繰越額   | —                   | —                  | —                  | —                  | —        |
|   | A. 計(b+d)   |   | 1,979               | 3,142              | 2,880              | 2,550              | 2,855    |
|   | B. 執行済額   |   | 1,979               | 3,142              | 2,880              | 2,549              | 2,855    |
|   | うち交付金充当額  |   | 1,583               | 2,513              | 2,303              | 2,039              | 2,284    |
|   | 次年度繰越額  |   | 0                   | 0                  | 0                  | 0                  | 0        |
|   | 執行率(%) (B/A)  |   | 100.0%              | 100.0%             | 100.0%             | 100.0%             | 100.0%   |
| 予算の状況の説明  |   | 当初5,571千円で予算計上したが、バトミントン男女及び英語ストーリーコンテストなど上位入賞を目指していたが、結果がでず派遣されなかった為、3月補正で2,716千円減額した。   |                     |                    |                    |                    |          |
| <b>活動目標(指標)及び達成状況</b>                           | H30活動目標(指標)   |   | 達成状況                |                    |                    |                    |          |
|   |   |   | H27年度               | H28年度              | H29年度              | H30年度              |          |
|   | 児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施  |   | 目標 (      実施      ) | (      実施      )   | (      実施      )   | (      実施      )   |          |
| 達成状況説明  |   | 夏季バトミントン大会においてベスト8に入り県大会出場を果たした。又沖縄県吹奏楽コンクール大会において審査員特別賞を獲得した。保護者アンケートにおいて支援児童が各大会への目標を称えて参加している頃が解った。大会に参加参加後日常生活や部活動に取り組む姿勢は変化したと答えている。28名中1名だけが変化がなかった。大会後も特段変化が無かったと報告があった。 |                     |                    |                    |                    |          |
| <b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>                           | H30成果目標(指標)   |   | 基準値(年度)             | H28年度              | H29年度              | H30年度              | 目標値(年度)  |
|   | 派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含めてアンケートを実施  |   | 目標 (      )         | (      100%      ) | (      100%      ) | (      100%      ) | (      ) |
|   | 進捗状況説明  |   | 実績                  | 100%               | 100%               | 100%               |          |
| 進捗状況説明  |   | 当初見込んでいた人数131名から、支援希望者は91名へ減少したが、島外への派遣を希望する91名全員については、その全てに支援を実施する事ができ(天候不良で飛行機の欠航が発生し延泊も出た)離島苦の改善ができた。  |                     |                    |                    |                    |          |

| 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) |   | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)  |
|-------------------------|---|---|
| 取組の検証                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みを行うことで、以下のような結果を得られるとともに、離島の子供達が経済的理由により本島の大会等へ参加困難となる状況を解消することができ、人材育成につなげるとともに、離島では経験できない多数の同年代の児童・生徒等と競技等を通しての交流を行うことができている。今回から保護者向けアンケートを実施したことから大会に向けての意識の変化が見られた。</li> <li>(英語ストーリー大会:優良賞、バドミントン(男女)大会:男女とも県大会へ、吹奏楽コンクール:審査員特別賞受賞、英語弁論大会:優良賞受賞、吹奏楽ソロコンテスト:銀・銅賞受賞)中学校音楽発表会。今年は、駅伝大会に9人参加</li> <li>・継続して人材育成に努めていくにあたり、当初参加を計画した大会へ参加可能となるよう、児童生徒の体調管理に努めるとともに、申請漏れや遅れ等の事務作業のミスが生じることで補助の実施が困難となる事態が生じないように継続していく必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会参加の目標を100%として、引き続き日頃からの練習や、体調管理を徹底する必要がある。</li> <li>・対象となる経費や必要な書類の提出時期等について引き続き学校側へ周知し協力を求めていることで、円滑な事務執行につながっていくものと考えられる。アンケートで意識の向上が見られない生徒がいたので、全員が意識を持って、練習や大会参加に出来るような意識の向上を図っていく。</li> </ul> |

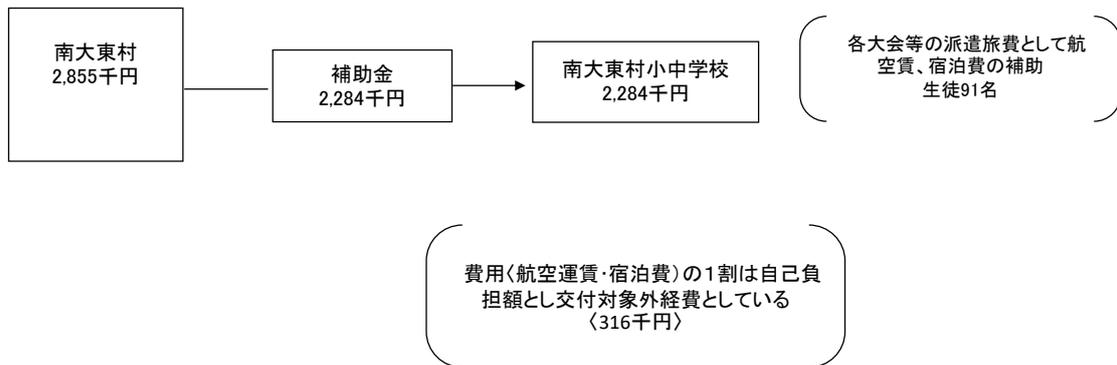
**今後の取り組み方針**

・今年は、児童生徒の意識向上を目的とした参加前参加後の意識改革する目的で、一人一人に「大会に向けての目標・日頃の練習の状況・大会結果・今後の目標」をシートにまとめさせ、日頃から自己管理意識の向上につなげるとともに、大会参加等を目標に据えて主体的に自己研鑽を行える人材として成長が見られた。又保護者へ事業を理解し目的を果たすための意識改革も行った。

・事務の効率の向上に向けて、学校側と必要な書類・手続き等について周知を行い、認識の共有を継続して行っていくことで、事務の遅れや補助の実施ができない事態等の防止に努めていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費  | 交付対象事業費 | 交付金充当額 |        | 交付対象外経費 |
|-------|---------|--------|--------|---------|
|       |         | 市町村負担金 | 市町村負担金 |         |
| 3,171 | 2,855   | 2,284  | 571    | 316     |



| 資金の流<br>れ、点<br>検、費<br>目・<br>評価 | 評価 | 点 検 項 目                        | 評価に関する説明                              |
|--------------------------------|----|--------------------------------|---------------------------------------|
|                                | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○児童生徒・指導者の補助で妥当であった。                  |
|                                | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    | ○予算として計上している金額は、目標達成時の額なので妥当であったと考える。 |
|                                | ○  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              | ○補助金90%、個人負担10%とし保護者負担は妥当であった。        |
|                                | ○  | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○実績報告書を確認しており事業目的に則した者であったと判断した。      |

|   |   |                       |           |                  |                    |                 |            |
|---|---|-----------------------|-----------|------------------|--------------------|-----------------|------------|
| 市町村名  | 南大東村  |                       |           |                  |                    |                 |            |
| <b>平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>      |   |                       |           |                  |                    |                 |            |
| 事業番号・事業名  | 4-①   | 南大東村テリハボク高度活用プロジェクト事業 |           |                  | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-イ    |            |
| 担当部署名   | 産業課   | 事業実施(予定)年度            | 平成29~30年度 |                  | 沖縄振興基本方針該当箇所       | 農林水産業の振興<br>Ⅲ-9 |            |
| 事業内容  | 南大東島では、テリハボクは古くから防風林・保安林・農地防風林として植栽され台風等の風や塩害から島を守ると共に島の景観にも溶け込んでいる最も重要な樹木である。そのテリハボクが資源(オイルや薬用油)として高度活用できることが言われており島の特産品としての活用方法の調査を実施する。  |                       |           |                  |                    |                 |            |
| 効果発現年度  | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)   |                       |           |                  |                    |                 |            |
| 実施方法  | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )  |                       |           |                  |                    |                 |            |
| <b>予算額・執行額</b><br>【単位:千円】<br>(「交付金」+「市町村負担」ベース) |   | H29年度                 | H30年度     | R1年度             | R2年度               | R3年度            |            |
|   | (a) 当初予算額   | 5,000                 | 10,530    |                  |                    |                 |            |
|   | (b) 予算現額  | 7,699                 | 12,579    |                  |                    |                 |            |
|   | (c) 増減額(b-a)  | 2,699                 | 2,049     | 0                | 0                  | 0               |            |
|   | (d) 繰越額   | -                     | -         | -                | -                  | -               |            |
|   | A. 計(b+d)   | 7,699                 | 12,579    | 0                | 0                  | 0               |            |
|   | B. 執行済額   | 7,548                 | 12,579    |                  |                    |                 |            |
|   | うち交付金充当額  | 6,038                 | 10,063    |                  |                    |                 |            |
|   | 次年度繰越額  | 0                     | 0         | 0                | 0                  | 0               |            |
|   | 執行率(%) (B/A)  | 98.0%                 | 100.0%    | #DIV/0!          | #DIV/0!            | #DIV/0!         |            |
| 予算の状況説明   | 賦存量調査を引き続き行い島内全体の樹木の本数及びテリハボクの着果量の調査。搾油及び保存方法、搾油したオイルの分析。オイル商品の試作及びアンケート調査。地元製造に向けた、オイル製造プラントに関する調査。  |                       |           |                  |                    |                 |            |
| <b>活動目標(指標)及び達成状況</b>                           | H30活動目標(指標)   |                       | 達成状況      |                  |                    |                 |            |
|   |   |                       | H29年度     | H30年度            | R1年度               | R2年度            |            |
|   | ・テリハボクの地域資源調査の実施  | 目標                    | ( 調査の実施 ) | オイル商品化(及び品質管理調査) | ( )                | ( )             |            |
|   |   | 実績                    | 調査の実施     | オイル商品化及び品質管理調査   |                    |                 |            |
| 達成状況説明  | オイル商品化にむけて、試作品を製作し、18歳から60歳の方を調査対象とし400名余りにアンケートを実施。使用感や色の見た目、臭い等については高評価であった。評価が悪い意見については試作品販売に向けての課題とする。オイルの品質管理手法については、搾油する前の、乾燥具合や保存状態でオイルの質(良い場合は黄色。悪い場合は黒)が変わる事が分かった。賦存量調査では島内全体のテリハボクの本数が約13万本、距離にして53kmにも及び調査区内での本数が3万6千本であり賦存量は26tであると結果となった。オイル製造プラントに関する調査では、搾油するまでの時間及び賃金、作業工程調査を行った。 |                       |           |                  |                    |                 |            |
| <b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>                           | H30成果目標(指標)   |                       | 基準値(年度)   | H29年度            | H30年度              | R1年度            | 目標値(R1年度)  |
|   | ・テリハボクの地域資源調査の完了  | 目標                    | ( )       | ( 完了 )           | ( 完了 )             | ( )             | ( )        |
|   |   | 実績                    |           | 完了               | 完了                 |                 |            |
|   | 【R1成果目標】<br>テリハボクの種子を活用した事業を実施するか確認した後、速やかに事業化につなげる   | 目標                    | ( )       | ( 完了 )           | ( 完了 )             | ( )             | ( 事業化の実現 ) |
|   |   | 実績                    |           | 完了               | 完了                 |                 |            |
| 進捗状況説明  | ・試作品のアンケートでは使用感や色、臭いについては高評価であったが、悪い意見については試作品販売に向け対策を練っていく必要がある。賦存量調査について、テリハボクは毎年同じ季節に花が咲くとは限らず、年2回の年もあれば、年1回の年もあることが2年の調査で分かった。台風や気温等で時期もずれてくるため、明確な賦存量の確定に近づける為にはまだ調査が必要であると思われる。   |                       |           |                  |                    |                 |            |

| 推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)  |  | 改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)   |
|---|--|---|
| 取組の検証   | 試作品のアンケートを実施したが、今回は1回分の使用量しか確保は出来なかったため、その場での使用感等での意見しかとれなかった。オイルの品質管理手法については、取った実の熟成具合や収穫後の管理で品質が変わるため明確な方法の確立が必要である。 | ・今後の検討に向け、アンケートの結果を参考に試作品を開発及び販売に向け、専門家とのマーケティングを行い、混合に必要な量の把握や試作品の種類を増やしていき多くの顧客を相手に検証する。<br>・オイルを搾油する工程を確立し、搾油歩留まり向上及び高品質の搾油安定化のための調査を行っていく必要がある。 |
|   | <b>今後の取り組み方針</b>   |   |
| 市場や年齢等お客に合わせて試作製品数種類(石鹸等、クリーム等)を作り、試作品を試験販売しマーケティング調査を行っていく。製品にはパッケージや宣伝も必要になると思われるため、デザイン等の専門家とのマーケティングを行っていく。事業終了後は村営での製造販売になるため、地元製造実証試験への必要な備品等の調査を行い取り組んでいく。 |  |   |

| 資金の流れ<br>(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)  |        |         |        |        |         |
|---|--------|---------|--------|--------|---------|
|   | 総事業費   | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
|   | 12,579 | 12,579  | 10,063 | 2,516  | 0       |
| <pre> graph LR     A[南大東村<br/>12,579千円] --&gt; B[委託業務費<br/>12,579千円]     B --&gt; C[特定非営利活動法人<br/>亜熱帯バイオマス利用研究センター<br/>12,579千円]           </pre> |        |         |        |        |         |

| 資金の用途の点検・評価項目 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明  |
|---------------|----|--------------------------------|---|
| 資金の用途の点検・評価項目 | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○バイオマス利用に対する内外での豊富な実績があり妥当と判断した。                |
|               | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    | ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。                      |
|               | —  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |   |
|               | ○  | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。 |